

持続可能な社会を目指す
グリーンポイント制



世界のエコな取り組み

- **ゼロカーボンシティ宣言**：全国の自治体が2050年までに温室効果ガス排出ゼロを目指す
- **クールチョイス (COOL CHOICE)** 環境省が推進する「賢い選択」キャンペーン（省エネ家電、公共交通など）
- **プラスチック資源循環促進法**プラスチックごみの削減と再利用を促進する法律
- **グリーン成長戦略**再生可能エネルギーやEVなどの成長分野を支援する政策などがあります。

エコな取り組みには様々な問題があります

1 情報不足・誤解

環境問題の深刻さや、自分の行動が与える影響についての理解が不十分。

「自分一人がやっても意味がない」という**無力感**。

2. 行動のハードルが高い

エコ商品や再エネの導入には**コスト**がかかる。

3. インセンティブの不足

環境に良い行動をしても、**目に見える報酬や評価が少ない**。

4. 社会的な同調圧力や文化的障壁

地域や世代によって、**環境意識に差がある**。

5. 制度やインフラの未整備

公共交通やリサイクル施設が十分に整っていない地域もある。

環境に配慮した**選択肢が少ない**（例：プラスチック包装の多さ）。



グリーンポイント パスポート の制度化

個人や企業が環境に優しい行動を取るたびに「**グリーンポイント**」が貯まり、地域通貨や特典と交換できる仕組みです。
行動履歴はスマホアプリやICカードで記録され、環境貢献度を見える化するということです。

行動例 獲得ポイント

マイバッグ持参で買い物 5pt

レジでQRコード読み取り、自転車通勤 10pt

GPS連携で自動記録もする、リサイクル品の持ち込み 15pt

回収所でスキャン、再エネ電力の契約、電力会社の契約 100pt/月

ポイントの使い道：

地元商店街での割引

公共交通の割引券

環境保全団体への寄付

環境イベントの優先参加権などを考えています。

メリット

行動変容を促進

- ・環境に良い行動が「得」になります。

地域経済の活性化

- ・地元商店との連携で経済循環

データ活用

- ・環境行動のビッグデータを政策に反映などに活用することができます

デメリット

安定的な財源の用意

- ・ 行動によってのポイントはどこから生まれ、誰が負担するのか

詐欺の報告

- ・ 他人のリサイクル品をとって、ポイントを稼ぐ行為

まとめ

画期的なアイデアだが再現性が低い可能性が高い

しかしこのグリーンポイント制の施行により環境が改善される可能性が高い